

つながる！広がる！届けパラアートの力

個性が光るふだんづかいのうつわ「そよかぜ陶芸」
みんなにやさしいまち調布「調布清掃」



調布市福祉作業所等連絡会 加盟団体

(N)=NPO法人、(福)=社会福祉法人、(一社)=一般社団法人、(株)=株式会社、(有)=有限会社、(合)合同会社



障害のある人の仕事や活動の場

- (福)新の会
はあと・ふる・えりあ:042-490-8625
ペーカリー&カフェ「ふあんふあ〜れ」:042-490-8637
- (N)エクセルシア
リサイクルショップ 不思議屋:042-489-3754
- (福)大泉旭出学園
旭出調布福祉作業所:042-485-5885
- (福)くすのき会
調布くすの木作業所:042-486-9129
シェア:042-481-1157/かれーや:042-440-2534
結の里:042-442-2023
- (N)クッキングハウス会
クッキングスター:042-498-5177
レストラン クッキングハウス:042-488-6369
ティールーム クッキングハウス:042-484-4103
- (N)高次脳機能障がい者活動センター調布ドリーム
調布ドリーム/リサイクルショップ夢市:042-444-3068
- (福)新樹会
創造農園:03-5314-7081
カフェ「空と大地と」:03-5314-7082
創造生活:03-5384-7066
- (福)巢立ち会/こひつじ舎:042-488-4433
- (N)爽々苑
爽々苑:042-480-8294
爽々苑やわらぎの家:042-481-6262
- (N)だいち
だいち調布事業所:03-6279-6482
だいち調布第2事業所:042-426-9555
だいち調布第3事業所:03-5315-5981
- (福)調布市社会福祉協議会
調布市希望の家 本場:042-481-7700
調布市希望の家 分場:03-3305-7737
希望の家深大寺:042-426-8577
障害者地域活動支援センター ドルチェ:042-490-6675
- (福)調布市社会福祉事業団
すまいる 本場/フレッシュペーカリーすまいる:042-481-7723
すまいる 分室/ペーカリー&カフェ「ほっとれ〜」:042-426-9481
デイセンターまなびや:042-442-9552
そよかぜ:042-481-7663
ちょうふだぞう:042-487-4552
- (N)調布心身障害児・者親の会
びいす:042-230-9776
下石原びいす:042-480-5775
- (福)調布を耕す会
しごと場大好き:042-486-1022
しごと場大好き国領:042-444-3733
カフェ大好き:042-481-3933
- (N)羽ばたく会
めじろ作業所:042-443-1633
カフェギャラリー「さえざり」:042-444-8818
- (N)ひなげしの会
第1ポビーの家:042-483-4230
第2ポビーの家:042-483-7090
第3ポビーの家:042-426-7506



障害のある子どもの療育と放課後・余暇活動の場

- (N)ファーストステップ
ファーストステップ(就労)/Gallery&Café Pedalo:042-426-4223
ファーストステップ(生活):042-444-1573
- (N)Mito Project /natural meal & cafe キナリヤ:03-6676-9627
- (N)ゆうゆうくらぶ/ゆうわ〜く:042-430-0844
- (N)らぶらんど/らぶらんど調布:050-3578-1395
- (N)リフレッシュ工房/リフレッシュ工房:042-486-4531
- (N)わかばの会
わかば事業所 042-486-3174
わかば第一事業所 042-484-1360
わかば第二事業所 042-488-2870
- (N)空の翼/ウイング調布:042-426-7748
- (株)シエンス/放課後等デイサービス たんぼぼ:042-444-0471
- (一社)生活支援ネット
アーリーバード:042-446-2550
アーリーバード柴崎:042-499-6030
- (合)チル・リブ/チル・リブ西調布ルーム:042-452-8501
- (福)調布市社会福祉協議会
放課後等デイサービス びっころ:042-490-6675
- (N)ちょうふの風/ちょうふの風:042-444-5514
- (N)なないろの会
クレヨンキッズ:042-490-3933
れいんぼー:042-499-6777
- (N)にこにこの会
にこにこキッズルーム:042-499-5660
放課後等デイサービスふくふく:042-444-7807
- (株)HITOWAキッズライフ/アイビーキッズ布田:042-444-7182
- (株)ファミリーホーム/ドリームボックス下石原:042-444-7155
- (N)ふみ月の会
ふみ月チャレンジ染地:042-486-9901
- (株)ベイフォワード
わかば仙川店:03-5969-9047
わかば西調布店:042-426-7982
- (N)ポコポコ・ホッピング
ポコポコ・ホッピング神代団地:042-483-1114
ポコポコ・ホッピング富士見町:042-486-5922
- (一社)ライフタイムコンディション
KiZuNa調布:042-444-1980
KiZuNa柴崎駅前:042-444-0045

その他

- (福)調布市社会福祉事業団
調布市立ゆずのき学童クラブ:042-444-6644
なごみ:042-481-7371
- (N)ふみ月の会/ふみ月の家:042-446-0633

調布市福祉作業所等連絡会ガイドブック
わくわく〜く

わくわく〜く23号
2023年10月発行
発行 調布市福祉作業所等連絡会
調布市布田2-26-8-101
042-481-3201
fuku-renraku@tbz.t-com.ne.jp

編集 NPO法人ちょうふ子育てネットワーク・ちょこネット
デザイン 古田 裕(FULL_DESIGN)
写真 楠 聖子

調布市福祉作業所等連絡会
ホームページ



ここが
好き!

あなたの 好きを教えて!

個性とパワーがあふれる
魅力的な作品がたくさん
「調布市パラアート展2023」
来場された方に
「お気に入りの作品」を
伺いました!

調布市パラアート展2023 8月22日→27日



ここが
好き!

「あるかお」
「色がきれいで色の使い方がい
い。顔の表情が独特で味があ
る。よく見るととても細かく描い
てあってすごいと思う」(11才)



ここが
好き!

「藤の花」
「細かいところまですべて折り鶴
を使って表現しているのがびっく
り。本物の木を組み合わせてる
のも素敵」(10才)



ここが
好き!

「ハートコンサートホール」
「いろんなキャラクターがいっぱ
いで探すのが楽しく、見飽きな
い。自分もこんな作品を作れた
らいいと思う」(8才)

来場者アンケートより

はっとするような色遣い、パワーがあり見て
元気になれます。商品化してほしい。

ふらっと立ち寄って新鮮
な感動をもらいました!

毎年楽しみに観に来ています。毎回、テーマ
や展示の工夫が感じられるのもいいです。

作品ごとに作者の個性が出て
いて面白い。楽しかったです!

アンケートで話題に上がった作品



「じいじとばあばのコラージュ」



「ハート」



特集

つながる! 広がる!

届けパラアートの力

調布市パラアート展2023



文化会館たづくり「くすのきホール」での「ハートつなぎ
day」の様子。シートに張り合わせ大型アートを完成。

「パラアート展」を一万枚の
ハートで盛り上げる!

今年で6回目となるパラアート展。調
布市は応援企画として、誰でも参加でき
る「ビックハートプロジェクト」を企画、
6月から市内のイベント会場や公共施設
等で「手のひらサイズのハート」の制作を
呼びかけました。「ハートつなぎday」
(8月18・19日)では、集まった約1万枚超



集まったたくさんのハート。調布ゆかりのアーティストや
FC東京などプロスポーツ選手も参加。

のハートを参加者が5m×10mという大
きなシートに貼り、大型アート作品を完
成!パラアート展期間中、会場の文化会
館たづくりエントランスに展示しまし
た。このイベントをきっかけにパラア
ト展を知り、初めて観ることができてよ
かった、という声も。ハートつなぎday
では会場に作品の一部を展示するなど、
数々の工夫で一日あたりの平均入場者数
は過去最高を記録しました。

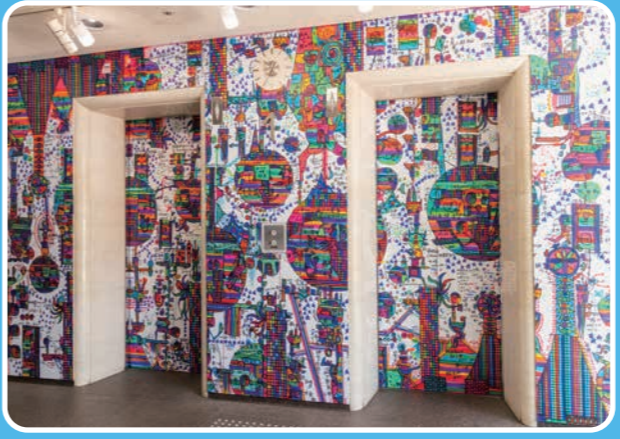
市内の作業所などで制作されたアート作
品を展示した「調布市パラアート展
2023」。その魅力をより広く届けよ
うと、今年は応援企画も実施、多くの参
加者、来場者でにぎわいました。

パラアート展の魅力を
 知ってもらうために

6月から実施した「ビッグハートプロジェクト」での認知度アップ作戦に加え、パラアート展会場がある文化会館たづくり館内では作品の魅力に触れる工夫が随所に。中でも必見はエレベーターホールに設置された国内外で活躍する「オール・ブリュット」アーティスト与那覇俊氏のウォールアート。独特の世界観と表現力に圧倒されます。



「ハートつなぎday」会場にはパラアート展作品の一部も展示。イベントに参加して初めてパラアートに触れたという方も。



エレベーターホールに設置したアート作品「与那覇俊氏《有限内の無限 0=3》」。12月末まで展示しています。



文化会館たづくりエントランスに展示された「ビッグハートアート」。自分の作ったハートがどこにあるか探す人も。

共生社会の充実を目指す市の理念を体現

「もっと知ってほしいパラアートの魅力をより多くの人に届けたい」と市民参加型の応援企画「ビッグハートプロジェクト」を企画した調布市文化生涯学習課の菊池香穂里さん。「入場者数はもちろん、来場者の層も広がったと実感しています」とのこと。同課長の渡辺賢治さんは、「市が掲げる『パラハートちょうふ』の理念のもと、福祉作業所等連絡会や特例子会社のメンバーのアート作品を積極的に活用していきたいと考えています。作品づくりの環境支援や展示機会の拡充に向けた一環として公共施設の装飾など、作品の魅力を広く発信する取り組みを継続していきたい」と話します。パラアートの可能性はこれからもどんどん広がっていきそうです。



逸品誕生
 ストーリー
 vol.6

作り手の個性が光る普段づかいのうつわ
陶芸作品



メンバーそれぞれの「好き」や「得意」を造形に生かす

暖かな色合いとユニークな模様が魅力の、同じものは一つとしない個性的なうつわたち。知的障害のある方の通所施設「そよかぜ」では、陶芸家としても30年以上の経歴を持つスタッフ、田崎麻里子さんの指導のもと作品作りに取り組んでいます。「数種類の粘土を混ぜる土作りの作業からメンバーと一緒にを行っています。特に各自の得意な動作を活かせるのが模様づけの作業。粘土の色見本から好きな色を選び、小さなお団子状にして張り付けたり、ひも状に伸ばして縄目模様をつけたりと、その方ならではの動きと創造性を発揮した作品ができあがります。また、作品作りの過程での様々な動作、指先や手、腕全体を使ったり、立つ、座るなどの動きは体のストレッチとなり、健康にもいい効果が。コロナ禍での中断を経て今年活動を再開し、先日はメンバーのご家族向けに販売会も行いました。ご自身で作った作品を日常的に使ったり、ご家族で楽しむこと



手でこねたり道具を使ったり、それぞれのやり方で取り組みます。

で生活の質の向上につながればと思います」（田崎さん）現在は、購入できるのはれんこんの箸置きだけですが「いい作品がたくさん生まれているので、この秋以降、地域のイベントなどで販売していきたいと考えています」と施設長 大山さん。

そよかぜ

わくわく編集部が見つけた福祉作業所メイドの逸品をシリーズで紹介。今回はメンバーの個性を生かした陶芸作品が素敵な「そよかぜ」にいました。



基本情報
そよかぜ
 調布市西町290-4
 042-481-7663



色や形はメンバーが決め、最後の仕上げを田崎さんが行います。



たくさん作った粘土玉を張り付けて。根気のいる作業。



ろくろが得意なメンバーも。土の感触を楽しみながら。

逸品に出会える場所

「そよかぜ」の陶器小物は「ベーカリー&カフェほっとれ〜る」(月～土 10時30分～ 18時・日祝は17時まで)などで販売しています。

福祉の現場で働く人たちに、「うちの事業所はココが熱い！」魅力ややりがいをインタビュー！

専門性を高め、スキルを磨ける喜び

アイビーキッズ布田 大谷 愛季さん

「できた！」「楽しい」をたくさん増やせる場所に
 前職の保育園で発達障害がある子どもを受け持った経験から、児童発達支援事業所を志したという保育士の大谷さん。「発達障害のお子さんには園や学校で自己肯定感を育みにくいという現状を知り、自分が関わるお子さんに前向きな未来を持ってもらえよう」と専門性を上げたいと思いましたが、保育と療育の考え方の違い、専門知識を踏まえつつ一人ひとりにとことん寄り添う姿勢に、日々学ぶことばかり。ここは作業療法士などさまざまな専門分野のスタッフがいるので、一人の子どもを多様な角度からチームで支援できるのも強み。一見問題と思われがちな行動も否定するのではなく、その背景を探り、感覚統合的観点から必要としている刺激を満たしてあげること、落ち着いて課題に取り組める姿勢を作っていきます。保護者の方との関わりについても不安に寄り添い、お子さんのいいところ、頑張ったところをしっかりと伝えるよう心がけています」



様々な専門性を持つスタッフで意見交換。チームワークのよさも強み。



アイビーキッズ布田
 就学前児童を対象とした児童発達支援事業所。作業療法士による感覚統合理論にもとづく運動遊びや自立課題などの個別療育を行っています。
 調布市国領町1-9-3 小谷田ビル1階
 042-444-7182



無添加で安全な食にこだわり地域のコミュニティスペースに
 仙川「安藤忠雄ストリート」に2019年オープンした、精神障害の方の就労支援も行う自然派カフェ。管理者の鈴木さんは様々な飲食店で修業したのち、障害者支援施設に転職。経験を積みながら、社会福祉士と精神保健福祉士の資格も取得したという経歴の持ち主。「精神疾患を持つ家族がいたことが福祉に興味を持ったきっかけ。精神疾患の方が働く場を支援できないかと、自分が学んだ経験の集大成としてスタートしました。できれば薬に頼るだけでなく、



オープンキッチンの明るい店内。日替わりの「キナリヤ定食」が人気。

「食」を通じて元気になれる場所 natural meal&caféキナリヤ

鈴木 正宏さん

食を通して体から元気になってもらいたいという考えから、可能な範囲で無農薬、減農薬の安全な食材を使い、手作りで多品目のお食事を提供。毎日のように来てくださる常連のお客さまも増え、地域に愛されるお店になってきていると感じています。メンバーさんの就労は、調理や接客、洗い物などその方に合わせたお仕事を、週2日1時間から。今後はヨガや登山、農業といった活動も積極的に取り入れていきたいと考えています」



natural meal&caféキナリヤ
 特定非営利法人Mito Projectが運営。生成(キナリ)のようにシンプルでできるだけ自然に近い形の「食」や「生活」「働き方」を提案。
 調布市仙川町1-25-4 シティハウス仙川1F
 03-6676-9627



調布市作業所等連絡会に所属する福祉事業所では、ボランティアや職員の募集を行っている施設もあります。詳細は各事業所にお問い合わせください(本誌裏表紙に一覧)

みんなにやさしいまち ちょうふ

「障害のある人が利用しやすい」場所は誰にとってもやさしい場所。障害がある人に配慮がある施設やお店をシリーズで紹介しします



「ほっとハート」など福祉イベントのゴミ収集にも協力しています。



「クリーンセンター」内の清掃の様子。週5日交代で行っています。



シャワールームは水滴が残らないように丁寧に拭き上げて。



「ありがとう」がテーマ、調布清掃70周年記念グッズと冊子。



株式会社 調布清掃
 調布市深大寺東町5-8-1
 042-485-1166

誰もが住みやすく、安全できれいな街づくりを
 深大寺東町 調布清掃

創業70年を迎える「調布清掃」は、地域になくてはならない廃棄物収集、処理の会社です。創業以来の理念から地域貢献に積極的に取り組んでいて、調布市作業所等連絡会との連携もその一つ。経営企画室の望月麻子さんにお話を伺いました。

「市内の粗大ごみの処理やリサイクルを行う『調布市のクリーンセンター』の清掃業務を連絡会さんに委託し、執務スペースや食堂などを作業所の皆さんに交代で清掃してもらっています。また、障害者雇用も「ちょうふだぞう」などを

通じて積極的に行っています。その方の特性に合わせた業務を担当してもらったり、よりわかりやすい指示を行うなどの工夫もしています。そのためなのか定着率が高く、中には30年以上働いている方も。また、街を巡回しての収集作業中などの際、高齢者や障害のある方のお困りごとや、体調の異変などを見つけて支援機関に連絡するなど「調布市見守りネットワーク」(通称みまもっと)にも協力しています。これからも、地域の方々のつながりを大切に、障害あるなしに関わらず誰もが住みやすく安全な街づくりに貢献していきたいと考えています」

Topics

連絡会ホームページリニューアル

作業所等連絡会ホームページの掲載情報量が増えバージョンアップ。「わくわく」も閲覧できるようになりました。



「わくわくショップ」営業再開
 調布市内の福祉作業所で作った商品を販売する調布市総合福祉センター1階「わくわくショップ」が、コロナ禍の不定期営業から通常営業を再開しています。(月・水・金10時30分～14時30分)

「東京さつきホスピタル」に電車車両を展示
 「創造農園」などの母体である「福新樹会が、「東急8500系を設置して、気楽にいきたくなる楽しい精神科病院へ」をスローガンに実施したクラウドファンディングで5000万円を達成。車両は10月から一般公開しています。